



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第18号 NO. 018

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2017年3月24日

川崎区役所危機管理「防災講演会」実施報告

日 時 2017年(平成29年)3月24日(土) 防災講演会 15:00~16:00
場 所 川崎区役所 7階会議室
主 催 者 川崎区役所危機管理担当
出 席 者 日本防災士会横浜支部(今井支部長、長沼副支部長、玉江幹事)
川崎区危機管理地域協議会(協議会構成団体:72団体) 参加者:55名
演 題 「東日本大震災・熊本地震の教訓を踏まえた備えと対応」について

【平成28年度川崎区危機管理地域協議会での「防災講演会」について】

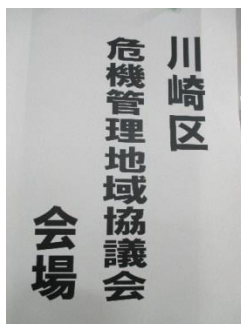
川崎区危機管理地域協議会は、区民、事業者、行政の連携を強め、防災・減災に関する情報共有、課題の協議・検討を行うことで地域防災力を高めることを目的として平成24年6月に設置されました。

今回の協議会は、山口副区長が司会進行され土方川崎区長のご挨拶で午後2時より開始されました。

第1部では、各部会(臨海部・帰宅困難対策部会、自主防災・特別支援部会、医療・救急部会、ライフライン部会)の報告と平成29年度のスケジュール(案)の説明。そして第2部の防災講演では司会者より防災士の紹介を賜り、今井支部長が3名の紹介と挨拶を行ないました。引き続き日本防災士会横浜支部の長沼副支部長による「東日本大震災・熊本地震の教訓を踏まえた備えと対応」について講演が行われました。

災害の教訓としてのクラッシュ症候群(注意点や治療方法)、エコノミー症候群、震災関連死や要配慮者のトリアージなど「自分」「家族」「地域」がやるべきことをより具体的に視覚と実例を交えて丁寧に説明いたしました。

特に「個人の備え」を工夫して日頃から実行する大切さを強調しました。会場の中にはメモを執っている方もお見受けしましたので良かったと思います。



文責 長沼重雄